

日本・インドネシア政策フォーラム  
岸田大臣冒頭祝辞

福田日本・インドネシア協会会長、  
田中国際協力機構理事長、  
ギナンジャーラ・インドネシア大統領諮問委員会委員長、  
ユスロン駐日インドネシア大使、  
白石政策研究大学院大学学長、  
ご列席の皆様、

今回の日本・インドネシア政策フォーラムの開会にあたり、一言御挨拶申し上げます。

まず、今般のインドネシアでの一連の選挙が円滑に実施され、その民主主義の成熟が世界に示されたことについて、改めて、心からの敬意と祝意を表したいと思います。

2ヶ月後には、多くの実績を上げられたユドヨノ大統領が勇退され、ジョコ次期大統領の下でのスタートが切られることとなります。このようなタイミングで、両国の政府関係者、有識者、ビジネス関係者などが一堂に会し、日本・インドネシア関係の一層の強化に向けて意見を交わすことは、極めて有意義です。主催者であるJICA及び御出席の皆様に、感謝申し上げます。

つい2週間ほど前、私は、ジャカルタを訪問し、ジョコ次期大統領やマルティ外相とお会いし、二国間関係や地域情勢について意見交換を行いました。その中で、私は、日本にとりインドネシアは、自由、民主主義などの基本的価値観を共有し、地域の安定など多くの共通の利益を有する重要な戦略的パートナーであると改めて確信しました。そして、両国の未来には、これまで長く培ってきた友好協力関係を土台とする、更なる大きな協力の可能性の地平が開かれています。

例えば、経済分野では、相互互惠関係を踏まえて一層の協力強化を図り、共に地域の成長に貢献することが可能です。日本からインドネシアへの投資は、長年にわたり、日本企業に活躍の機会を与えると同時に、インドネシアの産業振興と雇用創出に貢献してきました。今後も日本は、具体的な成果を上げつつあるジャカルタ首都圏投資促進特別地域（MPA）を通じたインフラ整備等、インドネシアのビジネス投資環境の整備に対する協力を惜しみません。

海洋分野にも、大きな協力の可能性が秘められています。先般のインドネシア訪問の際、私は、ジョコ次期大統領が勝利宣言を行ったスダ・クラパ港を視察し、海洋国家インドネシアの一端に触れ、その大きな可能性を感じてまいりました。日本とインドネシアは、共に海を通じて広く世界に開かれた海洋国家です。港湾等のインフラ整備、海上保安能力の向上、漁業振興等の分野で今後更に連携を深め、協力の具体化を図っていきたいと思います。

地域の平和と安定のための協力も重要です。インドネシアは、ユドヨノ大統領のリーダーシップの下、地域の平和と安定に尽力してこられました。日本もまた「積極的平和主義」の立場から地域の平和と安定に一層積極的に貢献していく考えであり、両国の緊密な協力は、地域の安全保障環境が変化する今、まさに一層の強化が求められている分野です。

これらの協力を通じ、両国が戦略的パートナーシップに基づく協力を一層深めることは、両国のみならず、地域の平和と安定、繁栄にとっても不可欠です。今日と明日の議論を通じ、そのための豊かな示唆が得られることを期待するとともに、私自身、外務大臣として両国関係の強化に引き続き尽力することをお約束して、私の挨拶とさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。

（了）